



第2回 ゆうさくコミュニティ・スクール協議会

7/14 (金) 部会水泳記録会



7/31 (月) 30分間回泳



令和5年9月25日 (月) 13:30~15:30 (会議室)

浜松市立雄踏小学校

第2回 ゆうさくコミュニティ・スクール協議会

令和5年9月25日（月）13：30～15：30（会議室）

書いていただいた感想を児童や職員に伝えますので、お帰りにワークシートを主幹（松田）まで御提出ください。よろしくお願いいたします。

- 1 日程：13：30～14：00 授業参観
14：00～15：30 第2回 ゆうさくコミュニティ・スクール協議会

- 2 ゆうさくコミュニティ・スクール協議会次第（全体司会：加茂 記録：前岡）

開催要件（過半数の出席）確認

- (1) 会長挨拶
- (2) 校長挨拶
- (3) 議長選出
- (4) 前回会議録確認
- (5) 熟議（議長：会長）
○学校評価の中間結果について（主幹教諭）
- (6) 報告
○来年度の学校運営について（校長）
○1学期の取組について（学校支援コーディネーター）
○今後の取組予定について（学校支援コーディネーター）
○現在の学校徴収金の状況について（事務センター所長）
- (7) 浜松市教育委員会（教育総務課 指導主事）
- (8) 連絡事項
○今後のゆうさくコミュニティ・スクール協議会
【第3回】令和6年 1月 日（木）13：30～15：30
（途中、3～6年生の授業参観と、ゆうさく教室の参観を行う）
【第4回】令和6年 2月14日（水）14：00～15：30

令和5年度 ゆうさくコミュニティ・スクール協議会委員 名簿

No.	氏名	肩書等
1	山田 敏	令和5年度協議会会長 保護司
2	楠野 正人	令和5年度協議会副会長 保護司
3	坂田 尚久	人権擁護委員
4	中村 厚	保護司
5	山内 勝巳	民生児童委員事務局
6	村松 美智子	民生主任児童委員
7	飯尾 晋太郎	前PTA会長
8	内山 雅紀	PTA会長
9	加茂 聡美	学校支援コーディネーター
10	宮崎 純恵	学校支援コーディネーター

コミュニティ・スクール研修会に参加して

(抜粋報告)

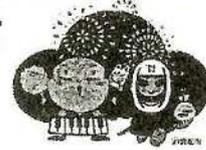
- 1 日 時 令和5年6月27日(火) 午後1時45分～
- 2 会 場 浜松市教育会館 大会議室
- 3 対 象 者 学校運営協議会長等
- 4 内 容 浜松市のCSの目的・概要と課題等

※ 抜粋内容等

- 市のコミュニティ・スクールの理念・目的
- CSについての正しい理解
- 十分な熟議(熟議とは)
 - ・ 具体的には
- 課題解決に向けて

浜松市のコミュニティ・スクールの理念・目的

- 児童生徒及び地域の現状並びに学校の課題を捉え、特色ある学校づくりを推進するとともに、未来創造への人づくり及び市民協働による人づくりに資することを理念とする。
- 保護者及び地域住民等の対象学校の運営への参画を促進し、もって当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図ることを
目的とする。
(浜松市学校運営協議会規則 第3条)



CSについての正しい理解

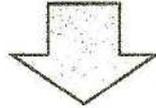
【コミュニティ・スクールの意義・役割】

今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、改めて学校・家庭・地域の役割分担や連携・協働することの重要性が浮き彫りになった。もはや校長や教職員だけではこうした事態に迅速かつ的確に対応することは難しく、保護者や地域住民等が「当事者」として学校運営に参画し、目指すべき目標を共有し、その目標達成のための十分な協議をした上で、学校と地域が協働して対処することが求められている。(略)

CSについての正しい理解

学校運営協議会とは…

学校運営と学校運営について必要な支援
について協議する機関



学校運営協議会における、
学校運営についての熟議の充実を！

十分な熟議

○熟議とは…

熟慮と議論

多くの当事者による「熟慮」と「議論」
を重ねながら課題解決を目指す対話

コミュニティ・スクール2018(文科省)

十分な熟議

○熟議とは…

よりよい集団(学校)生活や人間関係を築くために、「協働して取り組む一連の自主的、実践的な活動」を「話し合い」を重ねながら、生み出そうというものです。

令和2年10月「コミュニティ・スクールのつくり方」(文科省)

十分な熟議

子供たちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子供を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有するために「熟議」を重ねることが大切です。熟議の実施により、子供たちに関わる多くの方の意見を取りあげることができます。

令和2年10月「コミュニティ・スクールのつくり方」(文科省)

十分な熟議

○具体的には…

- ①多くの当事者が集まって、
- ②課題について学習・熟慮し、議論することによって
- ③互いの立場や果たすべき役割への理解が深まる
とともに、
- ④それぞれの役割に応じた解決策が洗練され、
- ⑤個々人が納得して自分の役割を果たすようになる。

令和2年10月「コミュニティ・スクールのつくり方」(文科省)

【課題解決に向けて】

「学校運営についての熟議充実のために」

- ①熟議内容の明確化と計画的な会議開催
- ②「当事者」としての意識向上
- ③熟議を深めるための準備
- ④長期的ビジョンに基づく協議会運営
- ⑤CS担当教職員の役割



令和5年度 第1回 ゆうさくコミュニティ・スクール協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和5年5月9日(火)午後2時から午後3時25分
- 2 開催場所 浜松市立雄踏小学校 会議室
- 3 出席委員 山田 敏、楠野正人、坂田尚久、中村厚、山内勝巳、飯尾 晋太郎、
内山雅紀、加茂 聡美(学校支援コーディネーター兼務)、
宮崎純恵(学校支援コーディネーター兼務)
- 4 欠席委員 村松 美智子
- 5 学 校 高杉 晋司(校長)、高木 悦代(教頭)、松田 浩征(主幹教諭)、木根 創(主幹)
前岡光子(校務アシスタント)
- 6 傍聴者 なし
- 7 協議事項
 - (1) 校長挨拶(委員任命書・学校支援コーディネーター委嘱書交付を含む)
 - (2) 会長の選出(副会長の指名:会長)
 - (3) 議長の選出
 - (4) 熟議(司会:会長)
 - ① 令和5年度学校経営の基本方針について(校長)
 - ② 夢育やらまいか事業(CS加算分)の運用について(教頭)
 - (5) 報告
 - ① いじめ防止基本方針について(校長)…別冊資料
 - ② 1学期の取組について(学校支援コーディネーター)…当日配付
 - (6) 連絡
 - 令和5年度ゆうさくコミュニティ・スクール協議会の予定
- 8 会議録作成者 校務アシスタント 前岡 光子
- 9 会議記録

司会の加茂委員より委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨報告があった。

 - (1) 校長挨拶(委員任命書・学校支援コーディネーター委嘱書交付を含む)

校長より、本協議会が2期目に入ったこと、新しく委員2人・学校支援コーディネーター1人を任命したことについて説明と紹介があった。
 - (2) 会長の選出

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、前年度より務めている山田委員を推挙する発言があり、全員異議なくこれを承認した。
また、その後会長に選任された山田委員から楠野委員を副会長に指名する旨の報告があった。
 - (3) 議長の選出

司会から議長選出について委員に意見を求めたところ、加茂委員より会長を推挙する発言があり、全員異議なくこれを承認した。
 - (4) 熟議(司会:会長)
 - ① 令和5年度雄踏小学校経営の基本方針について(校長)

校長から資料に基づき学校経営方針について説明があり、委員から以下の発言があ

った。

- ・雄踏小ならではの特色ある学校作りができるようにしたい。(山田委員)
- ・子供たちの挨拶が元気。自治会を通じて挨拶運動に参加している。(楠野委員)
- ・出前講座で小学校を回った経験がある。雄踏小は良い環境にあり、立派だなと感じる。(坂田委員)
- ・雄踏地域は穏やかだと感じる。花に関する知識を子供たちのために役立てたい。(中村委員)
- ・税金に関する授業を取り入れると、より良いのではないか。(山内委員)
- ・マスクのありなし関係なく子供たちが笑顔で安心している。(飯尾委員)
- ・子供たちが笑顔で過ごせるように尽力したい。(内山委員)
- ・子供たちの元気な笑顔のために仕事をしたい。(加茂委員)
- ・雄踏小出身なので、なにか力になりたい。長いお付き合いができれば嬉しい。(宮崎委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

②夢育やらまいか事業（CS 加算分）の運用について（教頭）

教頭より資料に基づき、説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・人材豊富な地域なので、ボランティアに運用したい。地域の方が参加してもらえるようになれば、クラブ活動にも運用するのが良いのではないか。(加茂委員)
- ・地域の人から話を聞くことは貴重な経験。働くとはどういうことか未来に対して興味を持つ。(山田委員)
- ・防犯・交通安全指導の講師料に交通ボランティアも含むのか。(加茂委員)
- ・花壇環境を美しくして、子供の心を育てる活動にも使える。(中村委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(5) 報告

①いじめ防止基本方針について（校長）…別冊資料

校長より資料に基づき説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・具体的に取組はどのようなものか。学校と家庭が連携していけるように、保護者も話を聞けると良いのではないか。(飯尾委員)
- ・欠席相当期間の日数は決まっているのか。またその期間に達しなくても柔軟に対応してくれるのか。(中村委員)
- ・放課後など学校外のいじめも対応してもらえるのか。タブレット SNS などどこまで対応してもらえるのか。(内山委員)

②1学期の取組について（学校支援コーディネーター）…当日配付

資料をもとに前年度の協議会から今日までのボランティア支援の報告があった。

今後はクラブ活動への参加、ゆうさく教室の開催など地域の人材を子供のために繋げていきたい。(加茂委員)

(6) 連絡

教頭より、次回会議は令和5年9月25日（月）授業参観後、午後2時から雄踏小会議室で開催する旨報告があった。

令和5年度 雄踏小学校 児童・教職員アンケートのまとめ

「4 できている」「3 だいたいできている」と答えた割合

令和5年7月実施 回答者 806 44

	評 価 内 容	児童% (R4.7)	教職員% (R4.7)
問1	学校は楽しい	89 (90)	100 (100)
問2	進んで気持ちのよいあいさつができる。	79 (74)	57 (64)
問3	きまりや約束を守ることができる。	88 (88)	75 (67)
問4	時と場に応じた言葉遣いができる。	86 (87)	50 (47)
問5	自分にはよいところがある。	85 (86)	91 (93)
問6	授業中に自分の考えをもち、進んで発表することができる。	72 (71)	66 (71)
問7	学年の目標時間の家庭学習をしている。(家庭学習の習慣化)	74 (79)	91 (93)
問8	早寝、早起き、朝ご飯を意識して生活している。	81 (83)	89 (91)
問9	目標をもって運動や体力づくりに取り組んでいる。	90 (92)	80 (83)
問10	昼休みには進んで体を動かして遊んでいる。(いろいろな活動を通して体力を高める)	69 (75)	89 (83)
問11	地域の人と活動することや学習することは楽しい。(コミュニティスクール)	87 (89)	93 (69)
問12	将来の夢や目標をもっている。	85 (89)	85 (89)
問13	先生は、困っているときに相談しやすい。	86 (88)	
問14	先生は、いいところや、がんばったことをほめてくれる	91 (93)	

- ◎ 全体的に肯定感が高い
- 多くの児童が教師に褒められていると感じている
- 目標をもって運動に取り組んでいるの評価が児童、教員共に高い

- あいさつ、きまりを守る、言葉遣いは、児童はできていると感じているが、教員の評価と差がある
- 自分の考えを進んで伝えることができるの評価は、児童も教員も低め
- 昼休みに体を動かして遊んでいると感じている児童が少ない

【今後の課題】

<徳育>

- 進んであいさつができる児童を増やす(児童10%増、教員20%増)
- きまりや約束を進んで守ることができる児童を増やす(教員20%増)
- 時と場に応じた言葉遣いができる児童を増やす(教員20%増)

<知育>

- 自分の考えを進んで伝えることができる児童を増やす(10%増)

<体育>

- 昼休みに体を動かして遊ぶことができる児童を増やす(児童10%増)

各学年の児童の学校評価の結果を受け、2学期に取り組む具体的な手立て

	学年で話し合った2学期の取り組み
1年生	<p>○【①学校は楽しい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと児童や学級を褒める。 ⇒教師が児童個人を褒めることで、児童が児童を褒める雰囲気につながる。これまであまり声を掛けられなかった子、自己肯定感の低い子を意図的に褒めるようにする。 ・わかる授業をする。 ⇒学習内容が分からなければ学校は楽しい場所にならない。これまで以上に学年で情報を共有するとともに、わくわくする導入、展開を心がける。また、単元や1時間の活動の見通しがもてるように、視覚的支援を行う。どの子も活動できるようなワークシートの作成、お助けグッズの作成を行う。必要な児童には合理的配慮を行う。 <p>△【⑥授業中に自分の考えをもち、進んで伝えることができる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の機会を増やす。 ⇒1年生なので、グループ学習よりペア学習が有効であると考え。教えることも確かな理解につながるので、教え合いの機会を増やし、伝えることの楽しさ、教え教わることの喜びを感じさせたい。
2年生	<p>○【③きまりや約束を守ることができる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「できる」を選んでいる児童が53%、「だいたいできる」を選んでいる児童が40%なので4を選ぶ児童の割合をもっと上げていきたい。 ⇒できている場面を積極的に取り上げ、褒めていくことで「もっと守りたい」という意欲を高める。そういった雰囲気を褒めることで、2や1を選んでいる児童も「きまりや約束を守りたい」という意識を高める。また、「なぜきまりはあるのか。」「きまりを守らないと、どうになってしまうのか。」を考えることで、自ら守ろうとする意識を育てる。 <p>○【⑭先生は、いいところや、がんばったことをほめてくれる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の良さを感じたり、褒めてもらうことでやる気をもてたりする児童をもっと増やしたい。 ⇒「やることが当たり前」ではなく、小さなことでも褒めていく意識を大切に。クラス全体を褒めるだけでなく、何気ない会話の中でも、個人を褒める言葉をかけていく。

	<p>△【②進んで気持ちのよいあいさつができる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「できる」を選んだ児童が48.8%だったので、もっと多くの児童が選べるようにしたい。 →月の目標で取り組んでいる挨拶を、さらに意識させ、達成できたときに学年全員が見ることのできる場所にシールをはる場所を作る。学年内で挨拶の意識を高め、月末のシールの数でトロフィーを移動させる。 <p>△【⑥授業中に自分の考えをもち、進んで伝えることができる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できていないと回答した児童が17.1%と5人に1人ほどの割合なので、安心して話し合えるようにしたい。 →意識的に話し合い活動を行う。ペアだけでなく、グループでの話し合いの練習をしていく。意見がもてなくても、聞くことも練習だと伝え、「自分と似ていたよ。」「分かりやすかったよ。」などと感想を伝えていく。 <p>△【⑧早ね早おき朝ごはんを意識して生活している】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早寝早起き朝ごはんの重要性を伝え、意識を高める。 →本読みカードをチェックする。食育の資料を使って、子供たちに話をする。習い事で遅くなることへの理解を示しつつ、できることを考えさせる。
3年生	<p>○【⑭先生は、いいところや、がんばったことをほめてくれる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までと変わらず、子供たちが出来ている事柄や物事を認め、褒める。 ・身支度や提出物を出す等、普通としてやっていることも認めて、褒める。 <p>△【②進んで気持ちのよいあいさつができる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来客があった時に、自分から「こんにちは」と挨拶をしたり、会釈をしたりすることができない。 →担任が事前指導を行い、経験を積む場を設定する。そして、挨拶や会釈をする経験を積ませる。 <p>△【⑥授業中に自分の考えをもち、進んで伝えることができる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを伝えることを苦手と捉えている児童が多い。 →2人グループでトークをする、4人グループでトークをする、といったように、話し合う場（ゲーム形式）を設定し、話すことに少しでも慣れさせる。
4年生	<p>△【⑥授業中に自分の考えをもち、進んで伝えることができる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動を増やし、伝え合う場を多く設ける ・タブレット（ジャムボード）の活用 ・グループ、ペアで話し合い →全体への発表へつなげ、話しやすい状況にしていく

	<p>△【⑦学年の目標時間の家庭学習をしている】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年便り、懇談会等で家庭へも訴えていく <p>△【⑧早ね早おき朝ごはんを意識して生活している】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健の授業で睡眠の大切さを学ぶ ・帰りの会で教師が呼び掛ける <p>△【⑩昼休みには、進んで体を動かして遊んでいる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級のイベントを増やす ・他学級のイベントにも参加できる雰囲気にしていく
5年生	<p>△【②進んで気持ちのよいあいさつができる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶に対する意識を高める方法について、話し合う機会をもつ。 ・挨拶する場を増やす。(最低でも教室に入る場面では行う など) ・挨拶の場、相手を明確にし、意識を高める。 <p>△【⑥授業中に自分の考えをもち、進んで伝えることができる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流することの価値を高める。(交流した友達の考えを評価、紹介する。) ・伝え方のモデルを示す。 ・自分の考えをまとめる、発信する場を設ける。 ・一人一人が発表する場を設ける。 <p>△【⑦学年の目標時間の家庭学習をしている】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組んだものを見合う時間を設けたり、良い表れを紹介したりする。 ・書き取りやプリントなど常時行っている宿題のやり方を意図的に変える。 ・ドリルパークを活用する。 (児童の力に応じて、基本問題、レベルアップ問題に取り組ませる。) <p>△【⑩昼休みには、進んで体を動かして遊んでいる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス遊びなどで運動が苦手な児童も一緒に遊べるような呼びかけをする。 ・決まった遊び(おにごっこやボール遊び)だけではなく、長縄なども行う。 ・時には、今まで遊んだことのない遊びを伝える機会を設ける。
6年生	<p>△【②進んで気持ちのよいあいさつができる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○9月いっぱい6年生主体のあいさつ運動を実施 ・朝、登校してから7時50分まで(ボランティアをつのる) ・月曜日1組、火曜日2組、水曜日3組、木曜日4組、金曜日ボランティア ・9月1日(金)に学年集会を開き、教師からねらいを伝える。 <p>△【⑩昼休みには、進んで体を動かして遊んでいる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ロングの昼休みの学級遊びの呼びかけ

	<p>(可能ならば) 月2回程度、学年の希望者で体育館でドッジボール等で遊ぶ。(担任教師が2名つく。)</p> <p>△【⑦学年の目標時間の家庭学習をしている】</p> <p>○ドリルパークの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語、算数それぞれ週1回程度、ドリルパークを使った家庭学習に取り組みさせる。最初は一律の課題で慣れさせ、次第に自分の力に合ったところを選択して行うようにする。 <p>△【⑥授業中に自分の考えをもち、進んで伝えることができる】</p> <p>○授業で、小グループでの意見交流の場を増やす。</p>
<p>さくら ひまわり こすもす</p>	<p>◎「①学校は楽しい」「⑬相談しやすい」「⑭褒めてくれる」については、そうだと考えている児童が多くいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、個のニーズに合わせた対応を心掛けていく。 ・困り感や悩みが見られたら、早期に対応をしていく。 ・よいところや頑張っているところを見つけ、大いに褒めていく。 <p>△【⑦学年の目標時間の家庭学習をしている】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年は比較的、家庭学習にしっかりと取り組んでいるが、高学年になると、量が増えたり、内容が難しくなったり、生活の乱れがあったりで、家庭学習にうまく取り組めないと思われる。 ・個々に応じて、量や内容を調整する。 ・家庭でできない児童については、学校で時間を設けて、家庭学習に代わるものとする。(家庭学習の習慣は付けたいため) <p>△【④時と場に応じた言葉遣いができる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その場に応じた言葉遣いが難しい。 ・感情のコントロールができず、考えずに言葉を発してしまう。 ・1学期に引き続き、その都度その都度、正しい言葉の使い方を指導していく。 ・「ふわふわ言葉」「ちくちく言葉」について、再度話をしたり、話し合いをしたりして、自ら、言葉遣いに気を付けるようにしていく。 ・感情のコントロールができるように、引き続き、指導・支援を続けていく。 ・言葉遣いが上手にできる児童を紹介したり、できた時に大いに褒めたりして、言葉遣いに気を付けようと思うようにしていく。

第2回ゆうさくコミュニティ・スクール協議会資料～事務室より～
「現在の学校徴収金の集金方法の状況について」

1 令和3年度までの学校徴収金について

学年費・積立金・給食費・PTA会費、これらのものは学校が保護者口座からまとめて振替をして集金していた。

2 令和4年度からの学校徴収金について

(1) 給食費

浜松市内すべての小・中学校において、浜松市が徴収・支出・納付の管理を行う、「**学校給食費の公会計化**」が実施される。

これに伴い、【各学校】から【浜松市】が**学校給食費を集金する方法**に変わり、浜松市が保護者口座から振替をすることになった。

<未納の場合の督促> 浜松市が行う。

<口座振替手数料> 浜松市が負担する。

(2) 学年費・積立金

給食費と一緒に浜松市が保護者口座から振替をする。

<未納の場合の督促> 学校が行う。

<口座振替手数料> 保護者が負担する。

(20円+消費税を口座振替時に合算して引落)

(3) PTA会費

任意団体ということで、浜松市が行う口座振替には入ることが出来ないため、**各校PTAで集金方法を考え、集金を行う。**

※本校の場合→年間1,000円の会費を**現金集金**。4月末に行われる三者面談の折に学級担任へ提出。事務室で集約して、保護者役員に現金を渡し、保護者役員が金額等の確認。

※課題

ア **学校作成の名簿**を任意団体であるPTAにそのまま渡して集金業務に活用することは**個人情報保護の観点から不可**となっている。

そのため、保護者に名簿使用のための同意を得なければならない。

イ PTA非加入世帯及び集金単位が全児童ではなく**実家庭(世帯)**単位のため、その対応が煩雑である。

ウ **三者面談時**に学級担任が現金を集金するため、集金業務にミスが起こる可能性がある。

1 趣旨

この要項は、浜松市学校運営協議会規則（令和元年 浜松市教育委員会規則第2号）第8条に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の自己評価の実施について必要な事項を定める。

2 評価の目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

3 評価の実施

協議会は、以下の評価項目について自ら評価を行う。

<評価項目>

（必須） ※全ての協議会で行う。

- 1 学校運営の基本方針について熟議することができたか。
- 2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。
- 3 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。
- 4 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標

※ 各協議会で追加する項目があれば5以降に設定する。

4 自己評価の結果の報告書の作成

協議会は、自己評価結果を様式1により、簡潔にとりまとめる。

5 評価結果の公表

協議会は、自己評価の結果について、CS便りや学校のホームページ等を活用し、広く保護者や地域住民等に公表するよう努める。

6 評価結果の報告と改善支援

(1) 教育委員会への報告

協議会は、様式1を当該年度末の指定する日までに教育委員会へ提出する。

(2) 教育委員会による改善支援

ア 様式1の活用

様式1は教育委員会教育総務課が集約し、各協議会の運営状況について把握するための資料とする。

イ 評価結果等に基づく改善支援

教育委員会は、評価結果等に基づき、各協議会の取組の改善が図られるよう、必要な助言又は指導を行う。

附 則

この実施要項は、令和2年9月1日から施行する。

この実施要項は、令和5年4月1日から施行する。

(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表
委員名 ()

＜本年度の目標＞

- 学校支援ボランティアの方が参加しているところを参観したり、ボランティアの方からの感想や意見を聞いたりして、今後のよりよい学校支援について協議する。
- 教員の負担を少しでも軽減し、子供たちと向き合う時間が確保できるよう、協議する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。
- ※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に記載する。
- ※ 委員個人の意見だけでなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。
- ※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけでなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。
- ※ 委員個人の意見だけでなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ※ どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ※ 委員個人の目標だけでなく、協議会全体としての目標を記載する。

【 熟議チェックシート 】

委員名 ()

できている もう少し

評価項目 1			校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
			基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞き置くだけでなく、よりよい学校運営のために建設的な意見を発言できた。
			学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
			学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
			学校運営について、率直に意見を述べることができた。
評価項目 2			学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
			熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
			これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
			協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。